

# 横浜市感染症発生動向調査報告 11月

## 《今月のトピックス》

- インフルエンザの流行が始まりました。
- 感染性胃腸炎、伝染性紅斑の報告数がやや増加しています。
- 手足口病の流行警報が解除されました。

### ◇ 全数把握の対象

#### 〈11月期に報告された全数把握疾患〉

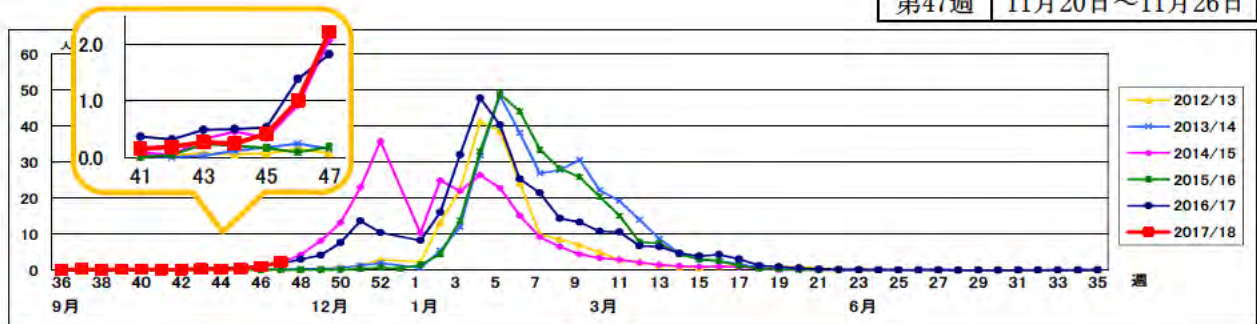
細菌性赤痢	1件	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	8件
腸管出血性大腸菌感染症	6件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3件
A型肝炎	2件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	5件
デング熱	1件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
レジオネラ症	3件	侵襲性肺炎球菌感染症	12件
アメーバ赤痢	3件	梅毒	18件
ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	1件	風しん	1件

- 1 細菌性赤痢:sonnei(D群)の報告が1件ありました。フィリピンでの経口感染と推定されています。
- 2 腸管出血性大腸菌感染症:O157の報告が5件、O26の報告が1件ありました。うち、無症状病原体保有者の報告が1件ありました。
- 3 A型肝炎:2件あり、1件はインドまたはネパールでの経口感染と推定され、1件は国内と推定されていますが、感染経路等不明です。
- 4 デング熱:カンボジアでの感染と推定される報告が1件ありました。
- 5 レジオネラ症:肺炎型の報告が3件ありました。感染経路等不明です。
- 6 アメーバ赤痢:3件の報告があり、2件は国内感染が推定される腸管アメーバ症、1件は国内またはハワイでの感染と推定される腸管外アメーバ症でした。経口感染、性的接触(異性間)、感染経路等不明が1件ずつでした。
- 7 ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く):40歳代のB型の報告が1件ありました。ワクチン接種歴はなく、感染経路等不明です。
- 8 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:8件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 9 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:3件のG群の報告があり、感染経路等不明でした。
- 10 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む):AIDSの報告が3件、無症状病原体保有者の報告が2件あり、いずれも男性でした。感染経路は、同性間の性的接触が3件、異性間の性的接触が1件、異性間または同性間の性的接触が1件でした。4件は国内の感染、1件はフィリピンでの感染と推定されています。
- 11 侵襲性インフルエンザ菌感染症:60歳代の報告が1件ありました。
- 12 侵襲性肺炎球菌感染症:70歳代以上の報告が7件(うち2件はワクチン接種歴あり、5件は不明)、30歳代、50歳代、60歳代の報告が1件ずつ(ワクチン接種歴不明)、乳幼児の報告が2件(1件はワクチン接種歴あり、1件は不明)でした。
- 13 梅毒:18件の報告(無症状病原体保有者8件、早期顕症梅毒Ⅰ期6件、早期顕症梅毒Ⅱ期4件)がありました。いずれも国内での感染で、男性10件、女性8件でした。感染経路は、異性間性的接触が13件、同性間性的接触が1件、性別不詳の性的接触が2件、感染経路等不明が2件です。
- 14 風しん:30歳代の検査診断例の報告が1件(ワクチン接種歴不明)ありました。

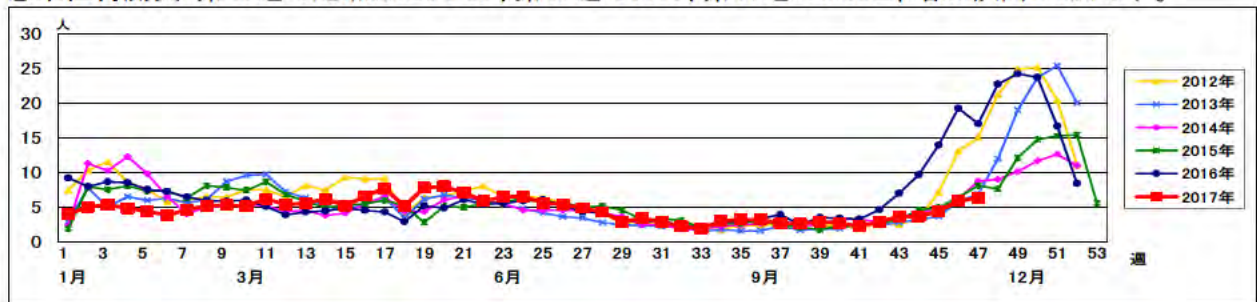
◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第43週	10月23日～10月29日
第44週	10月30日～11月5日
第45週	11月6日～11月12日
第46週	11月13日～11月19日
第47週	11月20日～11月26日

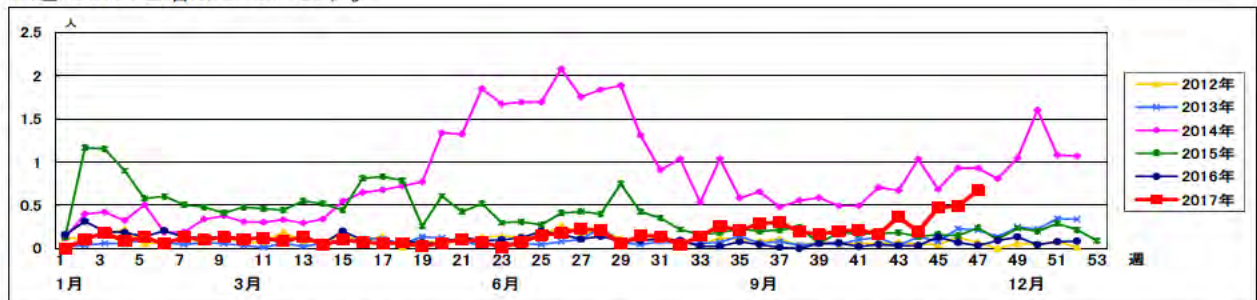
- 1 インフルエンザ: 第44週で定点あたり0.25、第45週で0.42と増加し、第46週にて1.01となり、流行開始の目安(1.00)を上回りました。第47週では2.22となっています。



- 2 感染性胃腸炎: 第45週で定点あたり4.39、第46週で5.85、第47週で6.33と、増加傾向にあります。



- 3 伝染性紅斑: 定点あたり0.1～0.2にて推移してきましたが、第45週で定点あたり0.47、第46週で0.49、第47週で0.67と増加しています。



- 4 手足口病: 第28週にて定点あたり6.20となり流行警報(基準値:5.00)が発令され、第31週の11.20をピークとして減少し、第45週に1.52にて流行警報は解除(基準値:2.00)されました。

5 性感染症(10月)

性器クラミジア感染症	男性:22件	女性:21件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:4件	女性:11件
尖圭コンジローマ	男性:2件	女性:4件	淋菌感染症	男性:11件	女性:1件

6 基幹定点週報

	第43週	第44週	第45週	第46週	第47週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.33	0.33	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.67	0.67	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

7 基幹定点月報(10月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	6件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	—	—

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

11月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点47件、内科定点11件、基幹定点26件で、定点外医療機関からは1件でした。

12月11日現在、表に示した各種ウイルスの分離株20例と遺伝子25例が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(11月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	イン フル エン ザ <sup>*1</sup>	R S 感 染 症	ア デ ノ 感 染 症 <sup>*2</sup>	手 足 口 病	発 疹 症	無 菌 性 髄 膜 炎	新 生 児 発 熱	水 痘	汎 血 球 減 少	流 行 性 筋 痛 症
インフルエンザ AH1N1pdm09型			5									
インフルエンザ AH3型			2 1									
インフルエンザ B型山形系統			6									
アデノ 3型					2							
アデノ 型未同定					6							
パラインフルエンザ 1型		1	1									
パラインフルエンザ 2型		1 1										
RS				3	1							
ライノ							1					
ヒトコロナ OC43型			1									
コクサッキー A6型	1					3						
コクサッキー A10型	2											
コクサッキー A16型						1						
コクサッキー B1型											1	
コクサッキー B2型								1	1			
エンテロ 71型						1						
HSV 1型												1
VZV										1		
合計	3	1 2	13 3	3	2 7	1 4	1	1	1	1	1	1

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

\*1:疑いを含む、\*2:咽頭結膜熱を含む

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

## 〈細菌検査〉

11月の「細菌感染性胃腸炎」は、赤痢菌 (*Shigella sonnei*) が1件、腸管出血性大腸菌 (O157:H-,VT1&2が1件、O157:H7,VT2が2件、O157:H-,VT2が1件、O26:H11,VT1が1件) が5件、サルモネラ属菌 (O4群) が1件でした。

「その他の感染症」のインフルエンザ菌は侵襲性インフルエンザ感染症由来で、無莢膜型でした。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(11月)

### 細菌感染性胃腸炎

検査年月 定点の区別 件数	11月			2017年1月～11月		
	小児科	基幹	その他*	小児科	基幹	その他*
	0	2	5	6	51	99
菌種名						
赤痢菌			1		3	3
腸管出血性大腸菌		1	4		8	87
腸管毒素原性大腸菌					5	3
腸管凝集性大腸菌					4	
チフス菌					1	
サルモネラ属菌		1			21	5
不検出	0	0	0	6	9	1

### その他の感染症

検査年月 定点の区別 件数	11月			2017年1月～11月		
	小児科	基幹	その他*	小児科	基幹	その他*
	4	8	2	34	93	195
菌種名						
A群溶血性レンサ球菌	T1	2		11		1
	T4	2		7		
	T6			4		
	T12			2		1
	T B3264			3	1	1
	型別不能			2		
B群溶血性レンサ球菌					2	7
G群溶血性レンサ球菌		2			5	4
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌						3
バンコマイシン耐性腸球菌						9
レジオネラ属菌					2	7
インフルエンザ菌				1	1	5
肺炎球菌		1	1		6	15
結核菌					20	111
百日咳菌					4	
緑膿菌					1	
その他		1			45	25
不検出	0	4	1	4	6	6

\*: 定点以外医療機関等(届出疾病の検査依頼)

T(T型別): A群溶血性レンサ球菌の菌体表面のトリプシン耐性T蛋白を用いた型別方法

【 微生物検査研究課 細菌担当 】